



宿泊業の高付加価値化のための 経営ガイドラインについて

高付加価値化に向けた 経営の取組って何だろう？

従業員の確保に
苦労している。

経営を続けて
いくためには
どうしたらいいかしら

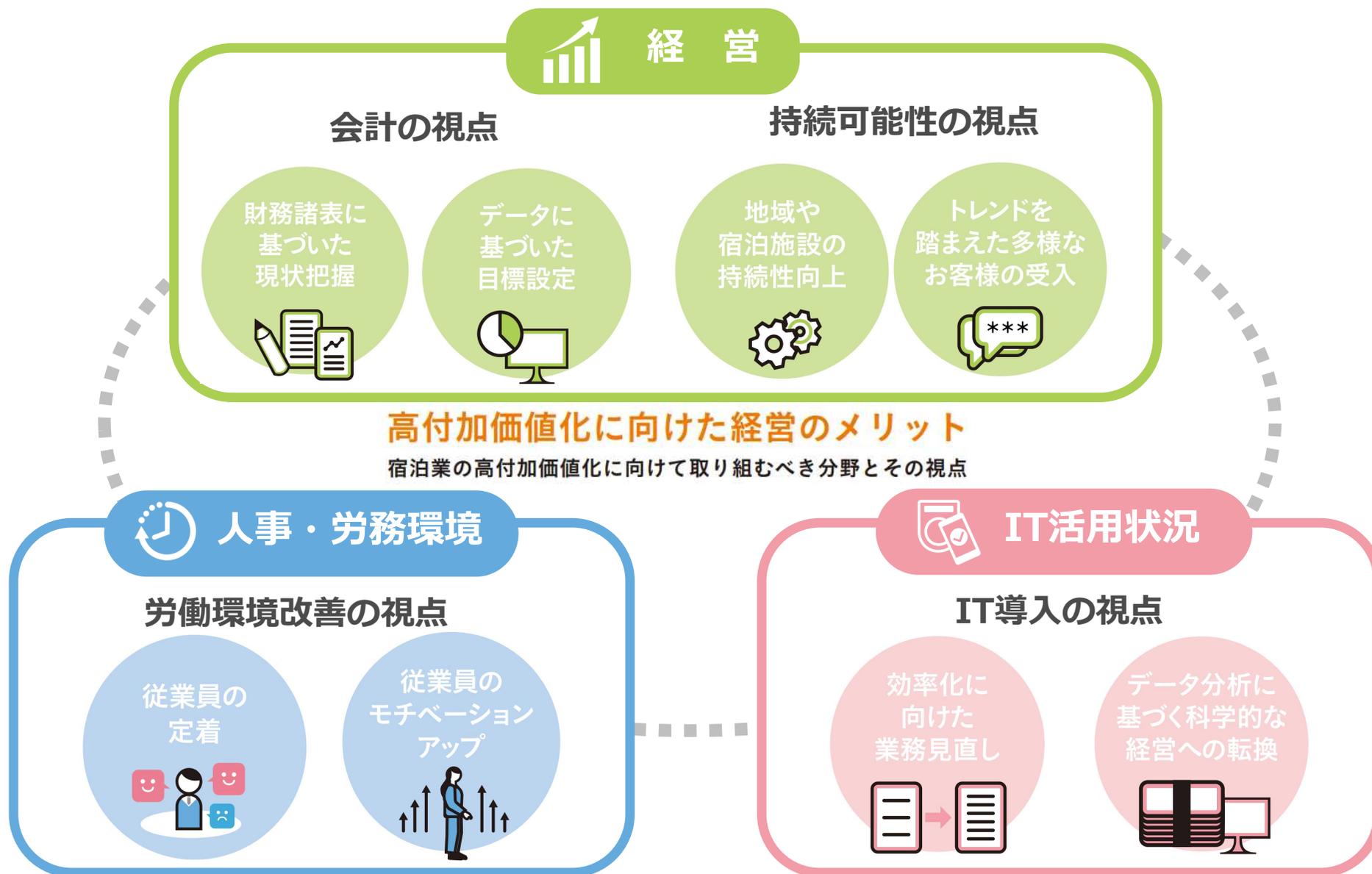
業務をもっと
効率化したい

中部運輸局観光部

令和 5年12月20日

宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン

宿泊業の高付加価値化に向けた経営のために取り組むべき事項について、
3つの分野と4つの視点から整理



※ 詳細は「宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン」を参照

宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン

4つの視点別の取組事項について、それぞれ**必須事項**と**努力事項**に分けて整理

必須事項

(宿泊施設の高付加価値化を図るための基盤を整えるため、)
企業的視点で経営を行う上で取り組むべき基本的な取組事項

努力事項

さらなる高付加価値化に資する発展的な取組事項

宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン



会計の視点
(ねらい：経営力・収益力・生産性の向上)

財務諸表に
基づいた
現状把握

データに
基づいた
目標設定



必要な取組事項

必須事項

- 貸借対照表の作成
- 損益計算書の作成
- 売上計画書の作成
- 返済予定表の作成
- 労働生産性の算出
- 従業員平均給与の算出
- ADR (※1) の算出
- RevPAR (※2) の算出

努力事項

- キャッシュフロー計算書の作成
- 損益分岐点比率の算出
- 償却前営業利益の算出
- 自己資本比率の算出
- 管理表 (部門別の管理会計) の作成



期待される効果 (メリット)

各種財務諸表の作成や、データにもとづいた目標設定などに取り組むことで、
企業活動の定量的な把握・分析や、分析に基づいた経営戦略につながります

※1 ADR (Average Daily Rate) …客室平均単価

※2 RevPAR (Revenue Per Available Room) …販売可能な客室 1 室あたりの売上

宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン



経営

持続可能性の視点
(ねらい：経営力・収益力・生産性の向上)

地域や
宿泊施設の
持続性向上

トレンドを
踏まえた多様な
お客様の受入



必要な取組事項

必須事項

- 観光施設における心のバリアフリー認定制度の取得



努力事項

- サステナビリティに関する取組の認知・発信
- サステナビリティに関する取組の第三者認証の取得
- BCP (※1) の作成



期待される効果 (メリット)

多様化する顧客ニーズへの対応や、市場変化に応じた取組を実施することで、地域のサプライチェーン全体の持続性向上につながります

※1 BCP (Business Continuity Plan) …事業継続計画

宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン

人事・労務環境

労働環境改善の視点 (ねらい：労働環境の改善)

従業員の
定着

従業員の
モチベーション
アップ



必要な取組事項

必須事項

- 労働関係法令の遵守・掲示
- 就業規則の作成・届出・周知
- 36協定の締結・届出・周知
- 変形労働時間制の作成・届出・周知

努力事項

- 有給休暇の計画的付与制度の導入
- 法定外休暇制度の導入
- 退職金制度の導入
- 能力評価制度の導入



期待される効果（メリット）

労働条件等の明確化や、従業員への待遇改善を図ることで、労働環境の改善・従業員満足度の向上につながります

宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン



IT活用状況

IT導入の視点 (ねらい：業務効率化)

効率化に
向けた
業務見直し

データ分析に
基づく科学的な
経営への転換



必要な取組事項

必須事項

- 連絡手段の電子化（メール）
- 情報発信手段の電子化（自社サイト等）

努力事項

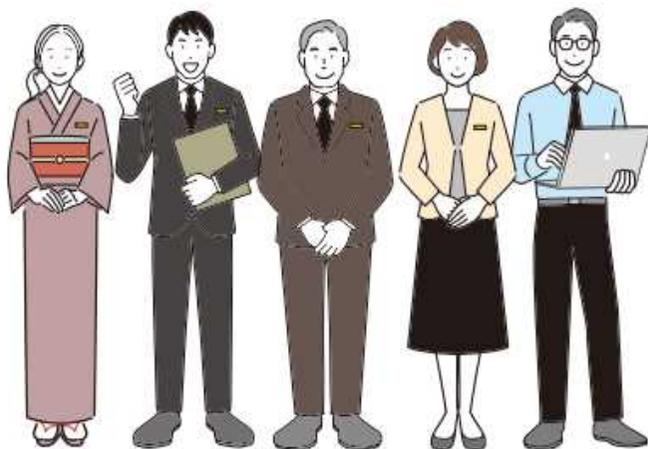
- 自社サイトでの直販チャネルの構築
- 宿泊施設管理システム（PMS）の導入
- キャッシュレス決済の導入
- レベニューマネジメントシステムの導入
- デジタルマーケティングの導入
- 人事・給与管理システムの導入
- 会計管理システムの導入



期待される効果（メリット）

経営手段の電子化や、必要なシステム導入を実施することで、
業務全体の見直し・効率化につながります

宿泊業を中心に
観光産業を
盛り上げていこう！



「宿泊業の高付加価値化の
ための経営ガイドライン」の
詳しい内容はこちらから

